

## 36 日本人の「すみません」

外国人が日本に来て、日本人の会話を聞くと、一番耳につくのが「ね」という言葉だと言う。「今日はずいぶんたくさんの方が来ましたね」とか「今日は天気がよかったですね」とか、何かと「ね」をつける。あの「ね」は何という意味ですか、と聞かれたことがある。日本人はわかる。「今日はたくさんの方が来たと思っております。あなたも同じでしょう」。

( a ) 「あなたと同じ気持ちです」ということを私たちは会話をするごとに繰り返している。(中略)

「あなたと同じ気持ちです」ということを繰り返し繰り返し言うことで、相手に対する軽い尊敬の気持ちを表している。だから挨拶ということが非常に大切なのである。

アメリカ人が日本にやって来ると、日本人の挨拶はうるさくて仕方がない、と思うようだ。例えば思いがけないところで知っている人とバッタリ会う。「どちらにお出かけですか」と尋ねる。アメリカ人はうるさいと思う。「どこに行こうと俺の勝手だ。俺の秘密を探ろうとしているのだろうか」。日本人は何もそういうつもりではない。「こんなところでお目にかかるとは思いがけないことだ。あなたの身の上には何か大変なことがあったのではないだろうか。もしそうだったら、一緒に心配してあげましょう」とこういう気持ちで聞くわけである。だから訊かれた方も正直に「いまちょっとお金がなくて、銀行にお金を借りに行くところです」なんていう必要はない。相手にご心配にはおよびませんよ、ということをつたえればいいのだ。そこで何と言うか。「ちょっとそこまで」。これでおしまいである。

「先日は失礼しました」。これもよく私たちが口にする挨拶である。アメリカ人はビックリする。「確かに先日この男に会った。しかしそのときにこの男は俺に何にも悪いことはしていない。するとこの男は、俺の知らない間にとんだことをしてくれたのではないか」と心配になるという。日本人の気持ちはそうではない。「先日は失礼しました」と言ったら、「先日あなたにお目にかかった。私としては失礼なことをした覚えはないけど、私は不注

意な人間である。もしかしたら失礼なことをしたかもしれない。もしそうだったらお詫びする」。こういうことを言っている。そういう言葉でもわかるように、①私たちは謝ることが非常に好きである。感謝することよりも、謝ることを尊ぶ。

みなさんがバスに乗っている。おばあさんが乗ってきた。誰かが席を譲る。おばあさんは何と言うか。「ありがとうございます」とお礼を言う人もいるが、「すみませんねえ」と謝る人の方が多いだろう。おばあさんの気持ちはこうである。「私がもし乗ってこなければ、あなたはずっと座っていた。私が乗ってきたばかりにあなたは立たなくてはならない。すみません」とこういう論理で、日本人は謝ることを非常に喜ぶ。

(金田一春彦『ホンモノの日本語を話していますか?』角川書店、2002年)

## 選 択 式 問 題

1. ( a ) に入るものとして、最も適当なものはどれですか。

- |        |         |
|--------|---------|
| 1. むしろ | 2. たとえば |
| 3. つまり | 4. いわゆる |

2. ①「私たちは謝ることが非常に好きである。感謝することよりも、謝ることを尊ぶ」  
とありますが、このことから日本人にはどんな考え方があることがわかりますか。

1. 日本人は、お互いが同じ意見を持つことを常に大切にしている。
2. 日本人は、自分の行為の責任を自分で取ることを常に大切にしている。
3. 日本人は、自分の気持ちがどうかということを常に大切にしている。
4. 日本人は、相手の気持ちがどうかということを常に大切にしている。

3. この文章の内容と合わないものはどれですか。

1. 日本人は「すみません」という言葉をよく使うが、それはお礼や感謝の気持ちを表している。
2. 日本人は会話の中で、しばしば「ね」を使うが、それは相手に対する尊敬の気持ちを表している。
3. 日本人のよく使う挨拶言葉に「先日は失礼しました」があるが、アメリカ人には奇妙に感じられる表現の一つである。
4. 日本人と町で会うと、「どこかお出かけですか」と尋ねられるが、行き先を詳しく話す必要はない。

